



老若男女が楽しく演奏 大野市 民謡会 結人

唄を中心に、三味線、尺八、篠笛、太鼓など古来の楽器の伴奏で日本人の心を表現する民謡。「民謡会 結人」は大野市内に住む男女10～80代の幅広い年齢層のメンバー 25人が所属する民謡グループだ。2018(平成30)年に結成され「演奏者が楽しみ、見る人も楽しく」をモットーに、大野市の民謡をはじめ、日本各地の民謡に挑戦している。

会主は大野市在住の岩田千津子さん(67)。岩田さんが三味線や民謡と出会ったのは20年ほど前、子育てがひと段落してからのこと。それまで未経験だった三味線を約10年間のレッスンで自分のものにし、独立。当時、大野市で行われていた、市民の「匠の技」を広く知ってもらう事業「大野市まち講座」で三味線を教え始めた。「結人」のメンバーはその時からの教え子や、関係のある人が多い。

「人前で演奏する機会は、練習の10

倍の学びがある」と考える岩田さんは、その機会を多く作るようにしている。春には発表会、夏は大野城祭りでの舞台演奏、普段は高齢者サロンでのボランティア演奏会など、メンバーは常に明確な目標をもって日々練習に励む。

取材日は日ごろ、岩田さんから個別でレッスンを受けているメンバーが月に1度集まり、演奏を合わせる日。参加は強制ではなく「来られる人が、来られる時に」のスタイル。会場の元町会館に岩田さんと篠笛の先生を含む11人が集まり、午後7時～8時30分まで練習を行った。この日は12月に大野市で行われる音楽イベント向け、山形県の民謡「花笠音頭」や「真室川音頭」を音のピッチやテンポを確認しながら演奏。いざ、演奏の息を合わせる時の真剣な眼差しと、唄の迫力は圧倒的。一方、演奏が終わると一瞬で和気

あいあいムードに。メンバーの1人村幸代さん(51)は「始める前は「私に三味線なんてできない」と思っていたけど、岩田先生のていねいで優しい指導と『結人』のみんなのおかげで、今とても楽しい時間を持てている」と感謝する。岩田さんは「三味線は高価な上になじみが薄く、始めるのにハードルが高いと思うけれど、少しでも興味をもったらぜひ参加してみてください。練習用三味線の貸し出しもしていますよ」と参加を呼び掛けていた。活動に興味のある人は岩田さん☎090-5176-6789まで



練習に参加した結人の皆さん。前列中央が会主の岩田さん。



練習の様子



舞台上の演奏の様子

知っておこう、身の回りの危険

美しい花には毒がある — キョウチクトウ —



夏には色鮮やかな花を咲かせるキョウチクトウは漢字では「夾竹桃」と書きます。笹のような細い葉と桃の花に似た花姿が由来と言われています。原爆投下後175年間は草木も生えないといわれた焦土に、キョウチクトウがいち早く開花したことから、復興のシンボルとして広島市の花に制定されています。

常緑で乾燥や病害虫に強く排気ガスの影響も受けにくいことから、公道や高速道路の街路樹として多用されたり、燃えにくいことから防火樹として利用されたりするほか、生け垣や公園木としてもよく見かけます。手がかからず強健で人気のあるキョウチクトウですが、全体に強力な毒成分(オレアンドリンなどの強心配糖体)を含み、間違えて食べると下痢・不整脈・心臓麻痺などの深刻な症状を引き起こすので取り扱いには注意が必要です。公園で、子どもがおままごとなどに使わないよう注意してあげましょう。野外でバーベキューをするときなど、枝を箸の代わりに使うのは絶対にやめましょう。燃やした時に出る煙にも毒性があるので、焚き付けに落ち葉を燃やしたりするのも危険です。できるだけ近寄らず、見て楽しむのにとどめるのが賢明です。



取材協力 内藤記念くすり博物館(岐阜県各務原市) 学芸員 立松 和晃さん

秋、おしゃれを楽しもう 手持ちのジュエリーを気軽にアップサイクル

デザインが派手すぎたり、古臭かったりして出番がなくなった指輪やネックレスに心当たりはないだろうか?リサイクルショップやオークションサイトを利用して現金化するののも一つだが、大切な人からのプレゼントや思い出の品は手元に置いておきたいもの。今の自分が使いやすいようにデザインを変えて再利用してみてもどうだろう。「筆筒の肥やし」と化していたジュエリーを普段使えるように、新たな価値を与えて再生するアップサイクルを提案したい。

福井市高木中央3丁目のオリジナルジュエリーと手作り時計の店「ジュエリー工房アンソエル」は、店内で装飾品の販売を行っているほか、ブライダルや記念日のリングのオーダー受け付けやジュエリー体験教室を開催している。一方で、リフォームやリメイクも扱っていて、ジュエリーを大切に長く使



ジュエリー何個かを組み合わせることも可能。溶解して使えるものはK18YG、Pt900なので、素材が明記された「刻印」を確認しておくこと。

いたい人に人気だ。オーナーの荒木亜由美さんは「ジュエリーの敷居の高さを払拭し、気軽にオーダーやリフォームを楽しめるお店でありたい」と言う。金や銀、プラチナは溶解してそのまま利用したり、余ったら買い取ったりしてくれるのは予算的にもうれしいところ。創業以来四半世紀にわたって、おしゃれを楽しみたい人に支持され続けている。作業はデザイン画を作成し、実物大のワックスでイメージや感覚を確認してから加工に入る。フルモデルチェンジだと2ヵ月ほどを要するそうで、スムーズに進めるコツは、デザインや希望を具体的にイメージしてから相談することだそうです。

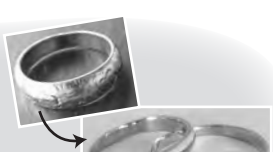


オーナーの荒木亜由美さん

加工例



派手なデザインをシンプルにして普段使いができるように



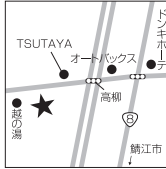
形見の指輪を半分に切断してシンプルなリングに



立て爪の指輪をペンダントトップに。加工とパーツの代金は1万円以内 ※空枠買取分含む、チェーン代別途

ジュエリー工房 アンソエル

① 福井市高木中央3丁目1906 ビースヴィレッジ1F-D
② 0776-52-2329
③ 午前10時～午後7時
(土曜・日曜・祝日は午前11時～午後6時)
④ 火曜日 ⑤ 4台
f ⑥ ⑦ ホームページで情報発信中



読者からのお便りコーナー

お題は 「おなかいっぱい食べたいもの」

ケーキです。カロリーを気にせず、いろんなケーキをたくさん食べてみたいです。(福井市 50代 女性)

食べるのが大好きで、娘や友人というんなお店に行きますが、やっぱり一番好きなのは、和食。福井の地産地消の食材が生きたおいしい和食をおなかいっぱい食べたいです。(福井市 60代 女性)

シャインマスカットです。高価な果物なので、購入しても少しずつ味わって食べています。(福井市 40代 女性)

秋といえばクリ、シャインマスカット、ナシ、リンゴなど、たくさんあります。スイーツが大好きで、フルーツケーキを食べたいです。(福井市 50代 女性)

酒粕。胃を手術してからお酒はのめなくなったのに、小さい頃から酒粕は別です。トースターで焼いて思っきり食べたい。(勝山市 30代 女性)

主人が転勤者だったので、三重県津市にいた頃、新玉亭さんのウナギ定食をよく食べに行っていました。機会があればそのウナギをおなかいっぱい食べたいと思っています。(越前市 80代 女性)



投稿募集

投稿してくださった皆さま、ありがとうございます。次回のテーマは「今年中に片付けてしまいたいこと」です。今年も残り3ヵ月、やり残していることをエピソードを添えて教えてください。※内容を変えない範囲で手直しがことがあります。ご了承ください。

日本海を間近に望む絶景キャンプ場 福井市 鮎川園地キャンプ場

越前海岸を間近に望む、ほかにはない立地で年々人気が出ているキャンプ場。ソロキャンパーから特に人気が高く、リピーターも多いが、家族連れや初心者にもお薦めのキャンプ場だ。サイトはフリーで、駐車場や通路以外はどこでもテントの設営が可能。海に近い場所、松の木が生え木陰ができる場所、木がなく開放的な場所など、利用者は自分が「ここ」と思った場所にテントやタープを張って過ごす。

多い時は月に3回ほど来るという越前市の30代男性は、鮎川園地の魅力を「何といっても絶景の夕日と利用料金の安さ」と話す。眼前に遮るものがないため、晴れた日には遠く水平線に沈む真っ赤な夕日を望むことができる。利用料金は大人1人1泊800円。予約不要のため「思い立った時に来られるのもうれしい」と話す。

さらに、ここで無視できないのが、

25年間管理人を務める松本美代子さんの存在だ。「初めての方はその日の天候などに合わせて、テント張りのお薦めスポットをお教えしますよ」と、鮎川園地を知り尽くした気さくな松本さんの言葉はとて頼もしい。近隣の日帰り温泉情報やさまざまなアドバイスをもらえるので、困ったときはぜひ相談を。松本さんは「夏は海水浴や虫採り、春秋は磯釣りなど、自然の中で季節ごとの楽しみ方ができる。スマホや音楽などはいったん置いて、波や風の音に耳や体を預け自然を満喫してほしい」と話していた。目の前の日本海には夕日のみならず、朝夕決まった時間にフェリーが通過し、夜に漁船が出ているときは漁火が見えることもあるそう。

食材やキャンプ用品の販売・レンタルはないので、全て持ち込みで。受付を済ませるとゴミ袋がもらえ、ゴミは

ゴミ置き場に捨てて帰ることができる。水場(手洗いの簡単な洗濯ならOK)、炊事場、コインシャワー(1回100円)、水洗トイレ、自動販売機のほか、管理棟では簡単な冷凍食品や、地元会社が製造する干物などの販売もある。



鮎川園地キャンプ場

① 福井市鮎川町132-4
② 0776-88-2624
③ 午前7時～午後7時 ④ 約50台
※営業期間：毎年4月～12月20日頃迄(年によって異なる)



利用者の炊事場



キャンプ場から海はすぐ。モリ突きで魚を捕ることもできる(アワビ、サザエなど漁業権対象の魚介類は採取禁止)

※料金(未就学児は無料)
1泊 中学生以上 800円
小学生 400円
日帰り 1人一律 300円

※その他 キャンプサイトへの車乗り入れ不可(バイクは横付け可)



気になるカフェ&ギャラリー

芸術を楽しむ心の余裕を カフェ&ギャラリー アトリエ展



100号を超す大作がゆったりと飾られたおいの間。駒本さん制作の絵画やアート小物も販売されている



前日までに予約すれば食べられるランチ。写真は「煮込みハンバーグランチ」。デザートとドリンク付きで1,500円



ヒーリングアートのワークショップの様子。出されたテーマに沿って自由に描く



オーナーの駒本展子さん

カフェ&ギャラリー アトリエ展

① 永平寺町京善11-27
② 090-2038-9947
③ 木～日曜日の午前午後5時
④ 約10台



今月の読者アンケートプレゼント

紙面をより良くしていくためにアンケートにご協力ください。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

方 ①希望のプレゼント ②住所、氏名、年齢、性別、電
法 ③電話番号、職業 ④現在購読の新聞名 ⑤おすすめ
券 ⑥読者のからのお便りコーナー、テーマ「今年中に片付けてしまいたいこと」への投稿を記入の上、下記のいずれかの方法でお送りください。

■はがき [宛て先] 〒910-0005 福井市大手3-2-13
中日新聞分室内
「さんぽみち」欄北10月号プレゼント」係

■メール osanpo@fukuikoho-c.co.jp

■LINE さんぽみち公式アカウント
ID: @059fzwww



お友達登録はこちら



1メールはこちら

メール、LINEの場合は、件名または本文初めに「さんぽみち」欄北10月号プレゼント係」と入力してください

締め切りは10月20日(金)必着

※当選者の発表は、プレゼントのお届けをもって代えさせていただきます。

お知らせ伝言板

ワインフェスタ2023 (新酒まつり)

日 時 10月8日(日) 午前9時～午後4時
場 所 白山ワイナリー(大野市落合2-24)



ベビーワインが味わえる貴重な1日です。今年は子どもが主役のブドウ搾汁体験が復活します。(搾汁体験は午前11時～、午後2時～の2回です。)やぎたちもやっています。商品お買い上げ1,000円ごとにお楽しみガラガラ抽選会ができます。そばやキッチンカーでの軽食もあり、家族で秋を楽しみましょう。入場無料。

問い合わせ先
白山やまぶどうワイン☎0779-67-7111

スタッフ 日 記

食欲の秋がやってきました。昨年このコーナーで筆者は、「○○の秋」と言えば「食欲の秋と日本酒の秋」とお伝えしました。今年は「果物の秋」です。最近では、農産物直売所に頻繁に足を運び、品定めをしています。「少々キズあり」や「形のいびつなもの」などの規格外でも、とてもおいしくお得な値段で購入できますよ。みなさんも一度足を運んでみてはいかがでしょうか。

※価格はすべて税込み。内容、価格に変更になる場合があります

個人情報保護法

さんぽみちをお客さまに記入いただいた個人情報とは、さんぽみちとお客様の地域の販売店において適切に管理し、プレゼントのお届けにだけ利用させていただきます。